

超高齢社会特有の悩み解決プラットフォーム

-福利厚生でも、サービスでもない。超高齢社会の“意思決定の質”を上げるインフラ-

よくわかる

MY HEROIC

(マイヒロイック)

人的資本

SWGs

Well-being

ESG

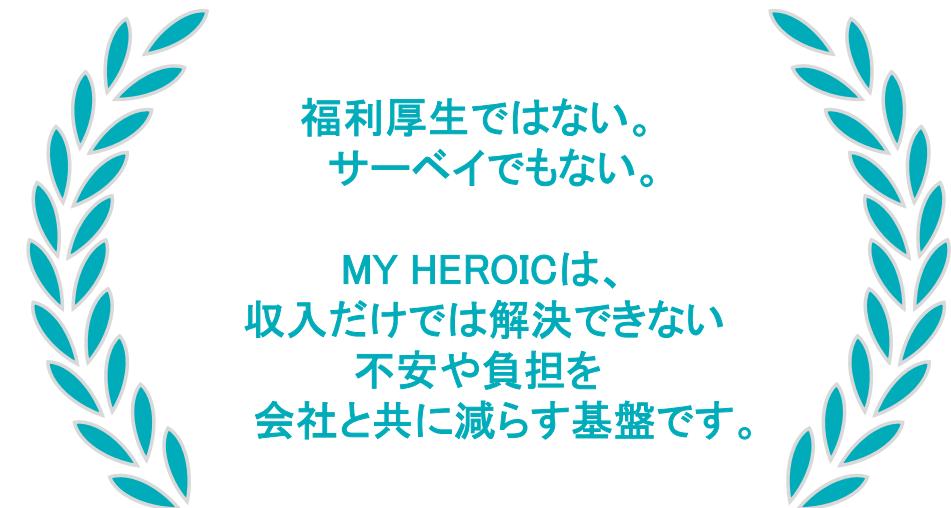
MY HEROIC

超高齢社会特有の悩み解決プラットフォーム



MY HEROICとは

働く時間だけでなく、人生全体を“能力値(Life Ability)”として捉え、ライフリスク低減・可処分リソース増加を通じてウェルビーイング向上・離職リテンションから人的資本・ESGの質を高め、個人→企業→社会を1本のKPIでつなぎます。



福利厚生ではない。
サービスでもない。

MY HEROICは、
収入だけでは解決できない
不安や負担を
会社と共に減らす基盤です。



MY HEROICの3階層構造

【非財務価値】Life Ability × 【財務価値】Well-being & Human Capital(企業内効果) × 【社会的価値】SWGs(社会・市場への拡張)の
統合モデル



こんな課題に直面したことはありませんか？

超高齢社会特有のライリスクが生産性と定着率を下げ、離職兆候や人的資本・ESGを裏付ける実効データを把握できていない。

人的資本が機能していない



- 人材はいるし、研修もしているが 縮職・不調 生産性低下が止まらない。
- 人的資本が「保有」されているだけで、 不安・人生リスクにより実効力が落ちている。

人件費を増やすことが難しい



- 社員満足度を上げたいが、賃上は固定費化し 経営リスクになる。
- 不満の原因は収入だけでなく、プライベートの 時間・所得のゆとりがないことによる安心感の 不足。

人的資本・ESGを「数値と因果」で 説明できない



- 各情報開示はしているが、投資家からは 「それで企業価値はどう上がるのか？」と 問われる。
- 人的資本・ESGが理念止まりで、ROIに 接続されていない。

人的資本経営は「勤務時間内」中心。実際の縮職・生産性低下の原因是
私生活のライリスクで超高齢社会では分離できない。

MY HEROICが解決します

Life Ability KPI起点で、Well-being & Human Capital(企業内効果)からSWGS(社会・市場への拡張)の3階層構造

Life Ability KPI(先行指標)

1 意思決定の質で 「実効資産」に変える

- 仕事外の悩み(介護・相続・健康・お金)をコーチング・コンシェルジュAIで整理。
- 専門家ネットワークで即解決。
- 判断停止・集中低下を未然に回復し離職・休職を予防。

Well-being & Human Capital(中間指標)

2 賃上げに頼らず 実質満足度を高める

- 社員の可処分時間、所得を増やし、無駄な支出・判断ミスを減らす。
- 収入の代わりに実質的な生活余力を創出し人件費をコントロールし、定着率・生産性を向上。

SWGS KPI(結果指標)

3 人的資本・ESGを 「ROIで説明可能」にする

- 可処分リソース・離職率・健康コストなどをKPI化し、効果を金額換算し、ROIを算出。
- 社会的効果(ESG S)も因果で整理。
- 統合報告書・有報・IRで「なぜ企業価値が上がるか」を説明。
- 投資家・監査に耐える人的資本経営へ。

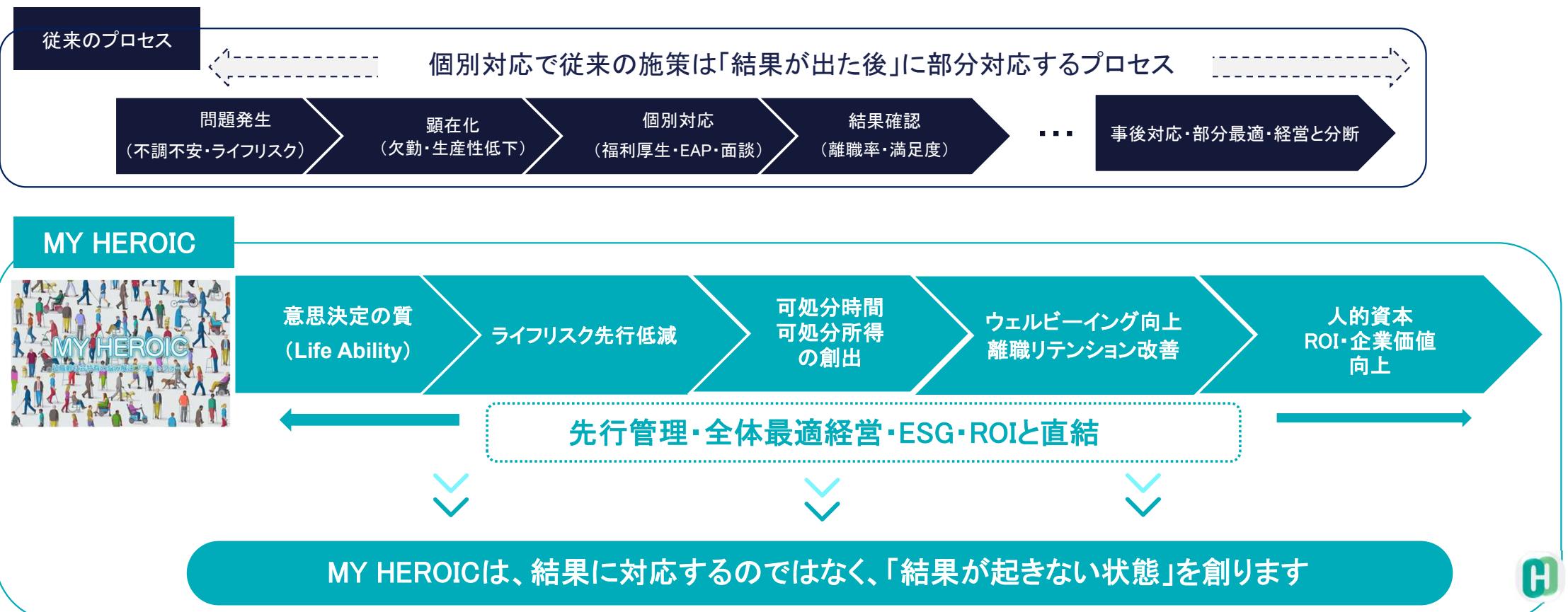


個人→企業→社会が1つのKPIでつながります



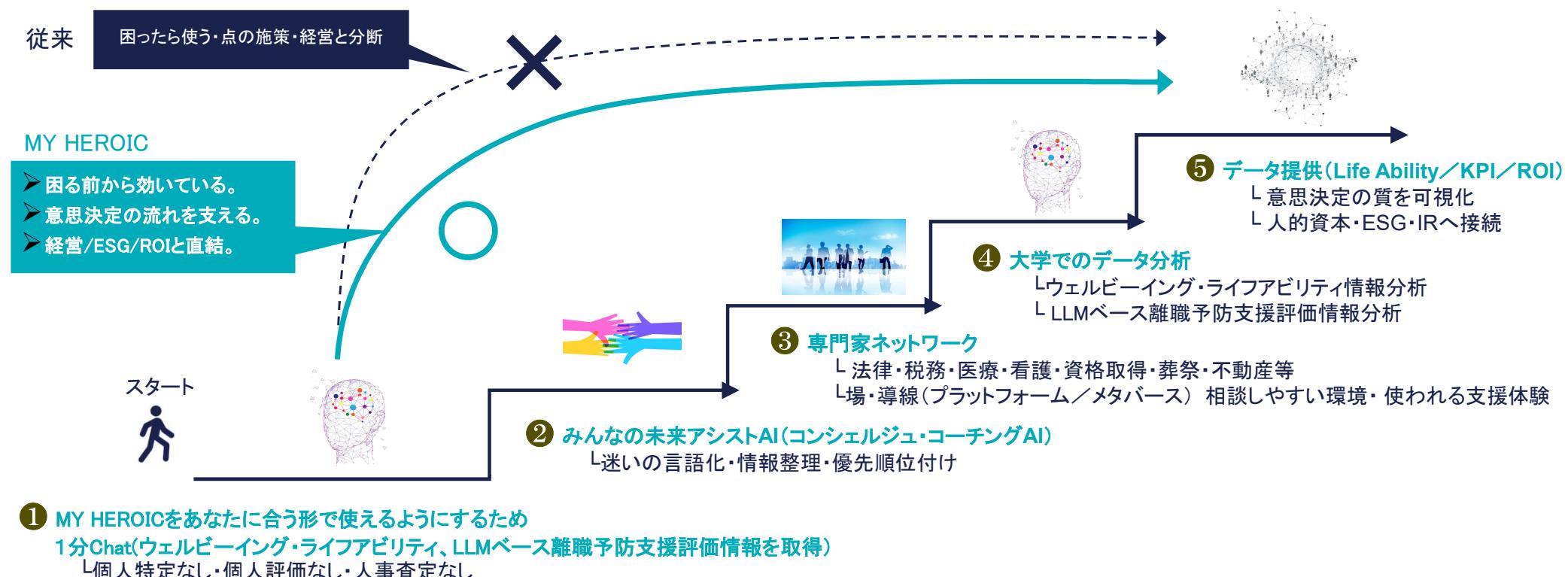
MY HEROICサービス範囲の広さ

従来の福利厚生やEAPでは届かなかった「意思決定の前段階」から介入し、生活・仕事・人的資本・ESG・企業価値までをカバーする圧倒的にサービス範囲の広い経営プラットフォームです。



MY HEROICサービスイメージ

AI・専門家・データ・コミュニティという複数リソースを束ね、人と組織の「意思決定の質(Life Ability)」をアップデートします。



MY HEROICサービス①⑤

1分Chat(あなたに合う形で使えるようにする) + 大学でのデータ分析



ウェルビーイングデータとLife Abilityを対話的・時系列に取得し、LLM分析により離職の兆候を意味レベルで把握することで
人的資本を「結果」ではなく「状態と変化」から管理できるようになります。(個人特定なし・個人評価なし・人事査定なし)

BEFORE

ウェルビーイング (従来の状態)

- 年1回・半年1回の定点アンケートが中心。
- 主観評価が中心で、その時の気分に左右されやすい。
- 「なぜ下がったのか」「いつ変化したのか」が分からない。
- ウェルビーイング＝満足度・幸福感に留まる。
- Life Ability(意思決定の質・生活運用能力)は測定不可。
- 経営・人事は結果(不調・離職)を見てから対応。

👉 人的資本は“静止画”でしか見えていない

After



ウェルビーイング評価情報・Life Ability情報取得分析 (玉川大学工学部サービス情報学柴田研究室連携)

- 思考プロセスを含めて取得分析。
- ウェルビーイングを可処分時間・所得、心理的余白として分解して把握。
- Life Ability(情報整理力／意思決定納得度)を状態指標として取得分析。
- 時系列での「変化量」「回復スピード」が分かる。
- 施策・支援との因果関係を検証可能。

👉 人的資本を“動画(プロセス)”として把握できる

MY HEROICは、利用者本人の個人情報を保持せず、匿名IDベースでデータを分析する構造であり、AIログは監査部門が確認できる形で保存されるためリスクの低い基盤です。



MY HEROICサービス①⑤

1分Chat(あなたに合う形で使えるようにする) + 大学でのデータ分析



ウェルビーイングデータとLife Abilityを対話的・時系列に取得し、LLM分析により離職の兆候を意味レベルで把握することで
人的資本を「結果」ではなく「状態と変化」から管理できるようになります。(個人特定なし・個人評価なし・人事査定なし)

BEFORE

離職管理 (従来の状態)

- 理由は事後データ。
- サーベイ結果は平均値のみ。
- 退職の「兆候」は見えない。
- ハイパフォーマー離職は突然起きる。
- 離職対策＝面談・待遇改善など後追い施策。

👉 「辞めた理由」は分かるが
「辞めそうな状態」は分からない

After



LLMベース離職予防支援評価情報取得分析
(静岡大学情報学部石川研究室連携)

- 1分Chatログ・回答文脈・行動変化をLLMが意味理解。
- ネガティブ感情ではなく「迷い」「判断停止」「納得度低下」を検知。
- 個人ではなくセグメント単位で兆候を把握。
- 離職前の「予兆パターン」をモデル化。
- みんなの未来アシストAI(コーチング／コンシェルジュ)介入の効果も検証。

👉 離職を“予測”ではなく“予防”する。

MY HEROICは、利用者本人の個人情報を保持せず、匿名IDベースでデータを分析する構造であり、AIログは監査部門が確認できる形で保存されるためリスクの低い基盤です。

みんなの未来アシストAI



みんなの未来アシストAIは、人の内面に働きかける「コーチングAI」と、最適な支援につなぐ「コンシェルジュAI」を兼ねた意思決定のための総合アシスタントです。

BEFORE

コーチング不在

- 情報が多すぎて 思考が散らかっている。
- 何が問題か自分でも分からない。
- 他人の意見・ネット情報に振り回される。
- 判断の軸(価値基準)が曖昧。
- 決断を先送り、または勢いで決めて後悔。
- 「本当にこれで良かったのか」という不安が残る。

コンシェルジュ不在

- 次に何をすればいいか分からない。
- 誰に相談すべきか分からない。
- 制度・サービスはあるが使えない。
- 行動のハードルが高く、放置される。
- 不安が長期化・慢性化する。
- 結果として不調・集中力低下・離職につながる。

After

コーチングAI=考えを引き出し、納得して決められる状態をつくるAI



- AIの問い合わせ悩みが言語化・構造化される。
- 事実／感情／制約条件が整理される。
- 自分と家族の価値基準が明確になる。
- 選択肢と優先順位が整理される。
- 自分で決めた、という納得感。
- 24時間いつでもコーチングを受けられる。

コンシェルジュAI=決めた後、迷わず行動につなぐAI



- 今の状況に合った次の一手が明確。
- 最適な専門家・支援先につながる。
- 自分に使える制度だけが提示される。
- 行動までの心理的ハードルが下がる。
- 課題が長期化せず、生活と仕事が安定。
- 24時間いつでもコンシェルジュが対応。



利用シーン別 みんなの未来アシストAI 活用具体例(超高齢社会特有の悩みカバー)

家庭問題(親・配偶者・子ども)

利用前(典型的状態)

- 家庭の問題を仕事に持ち込んでしまう。
- 誰にも相談できず一人で抱える。
- 判断を先送りし、問題が深刻化。

コーチングAI

問い合わせ例

- 「一番の不安は“今”ですか、“将来”ですか？」
- 👉 感情と事実を分離。何を守りたいかを明確化。

コンシェルジュAI

- 家族関係の整理支援。
- 専門家(家族問題・介護・法務)への接続。
- 企業制度(休暇・支援制度)案内。
- 家庭と仕事の両立が現実的に見える。
- 不安が行動に変わる。
- 職場での集中力回復。

相続・終活(自分・親)

利用前(典型的状態)

- 相続は「まだ先」と思い放置。
- 情報が多すぎて混乱。
- 家族で話せず、先送り。

コーチングAI

問い合わせ例

- 「今決めなくていいこと/今決めるべきことは？」
- 👉 価値観の整理。決断のタイミングを明確化。

コンシェルジュAI

- 弁護士・司法書士・税理士への接続。
- 遺言・任意後見・財産整理の導線提示。
- 自分で申請書が作成できるようアシスト。
- 家族への説明準備サポート。
- 早期準備による精神的安心。
- 家族トラブルの未然防止。
- 相続リスクの低減。

介護・医療(突然発生型リスク)

利用前(典型的状態)

- ある日突然の介護・入院。
- 仕事と両立できない不安。
- 誰に聞けばいいか分からない。

コーチングAI

問い合わせ例

- 「今すぐ必要なこと”と“後でいいこと”を分けると？」
- 「仕事を続けるために最低限必要な条件は？」
- 👉 パニック状態から整理状態へ。

コンシェルジュAI

- ケアマネ・医療連携先案内。
- 介護保険・制度の適用確認。
- 企業の両立支援制度案内。
- 初動対応がスムーズ。
- 長期離職の回避。
- 両立の現実解を確保。





利用シーン別 | みんなの未来アシストAI 活用具体例(超高齢社会特有の悩みカバー)

キャリア・働き方(ミドル・シニア期)

利用前

- このままでいいのか分からず。
- 役職定年・再雇用への不安。
- 誰にも相談できない。

コーチングAI

問い合わせ例

- 「収入・やりがい・時間、何を一番守りたいですか？」
- 「5年後の“後悔しない状態”とは？」

👉 自分の軸を再定義

コンシェルジュAI

- キャリア支援・学び直し案内。
- 社内外の選択肢整理。
- 制度・支援策の提示。
- 将来像が言語化。
- 主体的なキャリア選択。
- モチベーション回復。

お金・生活設計(老後・教育・住宅)

利用前

- 将来のお金が漠然と不安。
- SNS・ネット情報に振り回される。
- 行動できない。

コーチングAI

問い合わせ例

- 「不安の正体は“金額”?、“不確実性”ですか？」
- 「最低限の安心ラインはいくらですか？」

👉 不安の正体を分解

コンシェルジュAI

- FP・専門家案内。
- 公的制度・保険整理。
- 優先順位に沿った行動提案。
- 過度な不安の解消。
- 計画的な生活設計。
- 無駄な意思決定コスト削減。

身元保証・任意後見(単身・老後)

利用前

- 「もしもの時」が想像できない。
- 周囲に頼れない。
- 検索しても怖くなるだけ。

コーチングAI

問い合わせ例

- 「一番避けたい事態はありますか？」
- 「誰に迷惑をかけたくないですか？」

👉 本音と不安を言語化

コンシェルジュAI

- 任意後見・身元保証サービス案内。
- 専門家・信頼先の接続。
- 準備ステップ提示。
- 老後リスクの可視化と軽減。
- 精神的な安心。
- 家族・職場への影響最小化。





利用シーン別 みんなの未来アシストAI 活用具体例(超高齢社会特有の悩みカバー)

相続関係

- 遺言の法務局保管とは
- 法定相続人とは
- 遺言全般
- 遺言書の検認とは
- 遺産分割とは
- 相続放棄とは
- 遺留分とは
- 戸籍の取得の新サービス
- 相続登記の申請義務化
- 相続人申告登記
- 不動産の所有者が亡くなった(登記申請)
- 相続税がかかる場合
- 相続税がかからない財産
- 相続税の計算方法
- 相続税の税率
- 相続税の申告のために必要な準備
- 相続税の申告と納税
- 相続税の申告要否判定

贈与関係

- 贈与税がかかる場合
- 贈与税がかからない場合
- 贈与税の計算と税率
- 贈与税の申告と納税
- 贈与税の計算方法
- 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の非課税
- 親の土地に子供が家を建てたとき
- 親名義の建物に子供が増築したとき

認知症などの関係

- こころの病気
- 認知症の概要、相談先
- 認知症施策
- 認知症に関する相談窓口
- 全国の地域包括支援センター 地域包括支援センターを検索する手順
- 介護認定とは
- 介護サービス利用の流れ
- 介護保険とは
- 介護サービス利用までの流れ
- 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用の流れ
- 介護サービスにかかる利用料
- 介護サービス概算料金の試算
- 介護サービス情報公表制度
- 全国約21万か所の介護サービス事業所の情報検索・閲覧

成年後見関係

- 成年後見制度とは
- 成年後見申立



業界別 特に多い利用シーン整理

医療・介護・ヘルスケア業界

背景

- 従業員自身も介護・医療当事者になりやすい
- 心理的・時間的負荷が大きい

特に多いシーン

- 親の介護・医療対応
- 突発的な入院・看取り
- 身元保証・任意後見

コーチングAI

パニック状態を整理し、仕事継続の条件を明確化

コンシェルジュAI

医療・介護・制度・専門家に即接続

経営効果

- 突発離職・長期欠勤の抑制
- 現場の安定稼働

製造業(現場・地方拠点)

背景

- 親が地方在住
- 介護・相続が突然発生
- 相談文化が弱い

特に多いシーン

- 地方の親の介護・相続
- 住宅・不動産問題
- 老後資金・生活設計

コーチングAI

「今すぐ／後で」を切り分け、判断の優先順位を整理

コンシェルジュAI

地域対応の専門家・制度に接続

経営効果

- 退職予備軍の可視化
- 技能人材の定着

IT・知識労働型産業

背景

- 高ストレス・高情報量
- キャリア不安が頭在化しやすい
- 個人で抱え込みがち

特に多いシーン

- キャリア・働き方の迷い
- 将来設計・お金の不安
- 家庭問題との両立

コーチングAI

価値基準・優先順位を言語化し、思考疲労を軽減

コンシェルジュAI

キャリア支援・制度・専門家案内

経営効果

- 生産性・集中力向上
- ハイパフォーマーの離職防止



専門家ネットワーク



身上を隠して本音で相談できる専門家の集まるオンライン環境

BEFORE

個人(社員)視点での対比

(相談できない状態)

- 相談内容が重く、身元を明かすのが怖い
- 職場・家族・知人に知られたくない
- 士業・専門家にいきなり実名相談はハードルが高い
- 本音を伏せたまま一般論しか聞けない
- 結果として誰にも相談せず抱え込む

専門家視点での違い

- 実名相談前提
- 利用者が本音を出せない
- 問題の核心にたどり着けない

After



MY HEROIC メタバース活用

個人(社員)視点での対比

- 身元を伏せたまま安心して相談できる
- 評価・立場・会社との切り離し
- 本音・最悪ケースまで正直に話せる
- 専門家が状況を前提に具体的に応答

専門家視点での違い

- 匿名だからこそ率直な相談
- 初期段階で論点把握
- 本質的な助言が可能

👉 質の高い本音相談が成立





メタバース 相談会実施イメージ(同時20名)

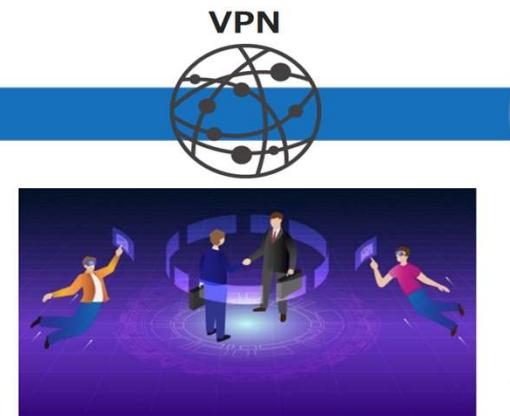
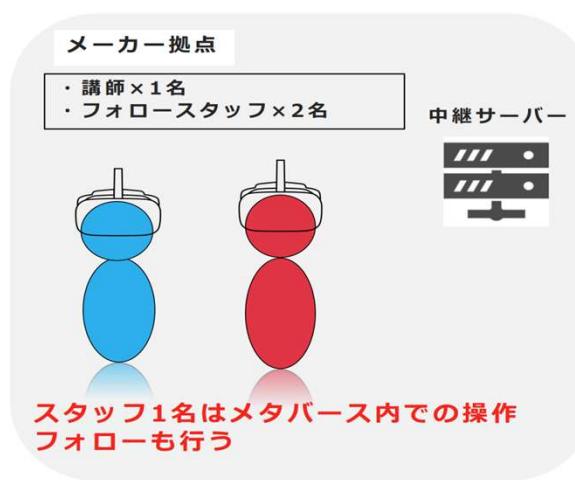
相談会実施イメージ（同時20名）

Confidential

 ALPHA CODE

遠隔拠点から相談会を実施。身元を隠した状態で相談が可能。

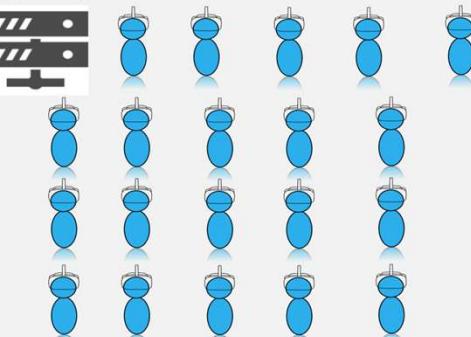
- ・相談会の動画コンテンツ = 10分程度
- ・先生方によるメタバース内の説明 = 10分程度
- ・合計35分程度、メタバース内で相談会を実施



相談者は20名程度、まとめて会場から参加。質疑応答は任意で可能。相談会場

- ・相談者 × 20名
- ・フォロースタッフ × 2名

中継サーバー



専門家ネットワーク



弁護士 司法書士 税理士 行政書士の専門資格者のサービス

BEFORE

個人(社員)視点での対比

(士業にアクセスできない状態)

- そもそも誰に相談すればいいか分からぬ
- 士業=高い・怖い・敷居が高いという心理的抵抗
- ネット情報で自己判断し、リスクを見落とす
- 相談前に悩み続け、行動が遅れる
- 家族にも説明できず、問題が長期化

企業・経営視点での対比

(従来)

- 社員の法務・相続・税務リスクは、ブラックボックス
- 問題が顕在化してから欠勤・離職
- 企業は関与できない

After



MY HEROIC 士業リソース活用

個人(社員)視点での対比

- AIとコーチングで相談内容が整理された状態で接続
- MY HEROIC経由のため、心理的ハードルが低い
- 初期相談・優待(特典)により安心してアクセス
- 専門家が前提を理解しており、話が早い
- 「知らなかつた」リスクを回避
- 家族にも説明しやすくなる

企業・経営視点での対比

- 生活リスクが早期に解消
- 不調・離職の未然防止
- 可処分時間・集中力の回復
- 人的資本ROIに直結

専門家ネットワーク



良医紹介・遠隔医療相談・看護介護相談・資格取得学び直し・不動産売買・住み替え相談・葬祭・終活相談などの専門企業のサービス

BEFORE

個人(社員)視点での対比

(専門家が分断されている状態)

- 誰に相談すればよいか分からない
- ネット検索・口コミ頼りで不安が増える
- 医療・生活・将来設計が点でバラバラ
- 相談コスト(時間・お金・心理)が高い
- 判断を先送りし、問題が深刻化
- 家族にも説明できず抱え込む

企業・経営視点での対比

(従来)

- 社員の生活リスクは、ブラックボックス
- 不調・欠勤・離職として顕在化
- 事後対応のみ
- 投資対効果が見えない

After



MY HEROIC 専門企業リソース活用

個人(社員)視点での対比

- 入口は1つ、専門家が横断的につながる
- AIとコーチングで論点整理済み
- 自分に合った専門企業に最短で接続
- 初期相談・優待等で心理的ハードルが低い
- 判断→行動までがスムーズ
- 家族にも説明でき、合意形成しやすい

企業・経営視点での対比

- 生活リスクを先行段階で解消
- 可処分時間・集中力の回復
- 離職リテンション改善
- 人的資本ROIとして説明可能

MY HEROICサービス⑤

データ提供(Life Ability／KPI／ROI)

有価証券報告書・人的資本開示要素のMY HEROICのデータKPIマッピング

ISO30414と対応

区分	金融庁の人的資本開示項目	MY HEROICデータ・機能	データ提供(実際に開示で使える形式)
① 人材育成	研修時間／リスクリング支援	LLM定着支援・資格取得支援 学習履歴	月次研修時間ダッシュボード キャリアの見通し指数
② エンゲージメント	エンゲージメントスコア	玉川大学データ分析 メタバース相談ログ	エンゲージメント指数(月次)
③ ウエルビーイング	心理的安全性・WLB	可処分時間・可処分所得 (1分チャットデータ取得)、相談傾向	Well-beingスコア(自動集計) 生活満足度、心理的安全性 ストレス指数・可処分時間所得増加実感
④ 定着 / 離職率	離職率・予兆	LLM離職リスク可視化・本音相談	予兆アラート／改善率 働きたい意欲スコア
⑤ 多様性	年齢構成・再雇用	アルムナイサポート・シニア支援	シニア就業支援利用 自分の背景・家庭事情を理解感覚
⑥ 労働災害・健康	健診・病欠	良医紹介・遠隔健康相談利用	相談件数・健康指標推移
⑦ 生産性	労働生産性	可処分時間の年間創出量	“時間ROI”(新指標)
⑧ 社会資本(ESG-S)	社員・家族支援	相続・介護・看護の相談件数	“家庭リスク軽減指数”

内閣府ウェルビーイングアップ指標に基づく MY HEROIC 対応マトリクス

MY HEROICは、生活の満足度向上に寄与する13分野を具体的にカバー

指標	MY HEROICカバー内容
家計と資産	相続・節税・適正価格不動産売却・副業支援
雇用環境と賃金	労働力不足部門向けインセンティブ設計、人的資本情報開示支援
住宅	相続・適正価格不動産売却
仕事と生活（WLB）	可処分時間増加支援・みんなの未来アシストAIによるサポート
健康状態	良医紹介・遠隔医療相談、看護師プライベートサービス
教育水準・教育環境	資格取得支援・リスクリーニングサポート
社会とのつながり	メタバース・専門家ネットワークによる安心相談環境
政治・行政・裁判所への信頼性	公的情報を活用した安心ナビゲート（みんなの未来アシストAI）
自然環境	（※今後の連携・情報提供機能を検討）
身の回りの安全	適切な法務・成年後見・介護制度ナビゲート
子育てのしやすさ	（※今後の検討領域）
介護のしやすさ・されやすさ	みんなの未来アシストAI（介護情報・介護相談）
生活の楽しさ・面白さ	メタバース空間での相談・情報取得・学び・交流

MY HEROIC導入効果

社員のLife Abilityを起点に、可処分時間・所得・健康・定着を同時に改善し、人的資本KPI・ROIを一本の因果で説明

仮定条件

前提条件

- 総社員数:500人
- MY HEROIC利用者:100人
- 平均年収:600万円
- 時給換算:3,000円
- MY HEROIC利用コスト:年間30万円(企業負担)
- 分析対象:MY HEROIC利用者100人

総効果

人的資本KPI

KPI項目	利用前	利用後(MY HEROIC)	改善内容
意思決定納得度 (Life Ability)	可視化不可	定量取得・向上	先行指標を取得
可処分時間	基準値	+30時間／人／年	集中力回復
可処分所得	基準値	+12万円／人／年	生活安定
健康関連コスト	基準値	▲5万円／人／年	予防・早期対応
離職率	10%	7%	3%改善
離職兆候把握	不可	LLMで兆候把握	先行管理

項目	金額
可処分時間増加	900万円
可処分所得増加	1,200万円
健康コスト削減	500万円
離職コスト削減	300万円
年間総効果	2,900万円

財務インパクト(ROI計算)

👉 ROI 約9,570%



MY HEROIC導入効果

ROI・効果内訳・価値向上ポイント統合表

分類	具体的効果	数値・指標	期待される企業価値向上
ROI	限定計算		96倍(利用者100人のみ換算)
効果内訳	可処分時間価値	900万円(31%)	時間資源の有効活用
効果内訳	可処分所得増加	1,200万円(41%)	生活安定・幸福度向上
効果内訳	健康コスト削減	500万円(17%)	医療費・健康関連コスト抑制
効果内訳	離職率改善効果	300万円(10%)	定着率改善・採用コスト削減
財務的価値	ROI効果	最大163倍 年間総便益:約2,900万円	低コストで高効果、即投資回収
財務的価値	コスト削減	健康コスト削減500万円 離職率改善効果300万円	人件費・福利厚生費の削減
非財務的価値	社員満足度	利用後50%UP	エンゲージメント強化、定着率改善
非財務的価値	ウェルビーイング改善	心理的安全性・幸福度向上	生産性・集中度の向上
非財務的価値	人的資本開示	1分チャットデータ収集・分析・開示	投資家への透明性・信頼獲得
社会的価値	ESG評価向上	S要因改善 株価パフォーマンス+6%実績	市場評価・企業ブランド向上
社会的価値	ブランド価値	『社員と家族を守る企業』の印象強化	採用力・顧客維持力の向上
前提条件	利用状況	社員総数1,000人中100人利用	対象スコープの明示
前提条件	導入コスト	年間30万円	1か月未満で回収可能

他社サービスとの違い

MY HEROICは、単なる福利厚生・顧客維持パッケージではなく、超高齢社会特有の”本当に困る”を”テクノロジーと専門家”で最適化し財務・非財務・社会的価値の三位一体で企業価値を持続的に向上するサービスです。

	MY HEROIC	Aサービス	Bサービス	Cサービス
初期・運用コスト(1人)	○ 初期コストなし/月額250円	△ 初期コストあり/月額300円～	△ 初期コストあり/月額200円～	✗ 多額の預金が必要
導入/管理/利用の手間	○ パスワードのみで利用可能	✗ 各利用者の設定作業が必要	✗ 各利用者の設定作業が必要	○ コンシェルジュが対応
利用率/ROI	○ 高利用率/高ROI	✗ 低利用率/低ROI	△ 不明	△ 不明
社会ニーズ性 企業価値増加 専門家・テクノロジー	○ 全て当てはまる	✗ 旧来の定型サービス	△ 企業価値にのみつながる	△ 時代にマッチ/企業価値は不明



従来施策・HR Techとの違い

MY HEROICは、「施策」でも「ツール」でもなく、人的資本経営を機能させる“意思決定インフラ”

観点	福利厚生	EAP	HR Tech	MY HEROIC
介入起点	問題後	不調後	業務データ	意思決定前
対象	一部	不調者	社員	全社員+家族
対応範囲	点在	心理中心	業務中心	生活全体
価値提供	制度	相談	可視化	意思決定支援
データ	未統合	個別	業務KPI	Life Ability～ROI
経営接続	弱い	なし	限定的	KPI・ROI直結
ESG対応	形式的	対象外	一部	Sを実装



料金プラン

初期費用無料

0円

- 初期費用は、無料でご利用頂けます！

3親等まで利用可能



- 3親等まで利用可能！
- 家族と一緒に悩み解決！

スタンダードプラン

基本的な利用可能なプラン

ご利用企業様ごとにカスタマイズも可能です。

初期費用 0円

月額費用 250円

年間費用 3,000円

※ 1ユーザーについての金額です。

- ✓ 基本機能
- ✓ WEB問合せ対応
- ✓ 利用回数：無制限
- ✗ 一部のテクノロジー利用料・データ分析費用は別途費用がかかります。

1ユーザー単位で契約可能



- 小規模導入可能！
- 困っている方にすぐにご利用頂けます！

無料トライアルあり

3ヶ月

- 3ヶ月の無料トライアル
- 是非MY HEROICをお試しください！



導入までの流れ

STEP
01

まずは info@heroic.co.jp までお問い合わせください。
ご相談内容を確認の上、担当者よりご連絡いたします。



STEP
02

お申込み／契約
ご利用人数を決定の上、お申込みいただきます。



STEP
03

初期設定
管理画面利用のためのPWを発行させていただきます。



STEP
04

利用開始
任意のタイミングでサービス利用を開始いただきます。

ご担当者のお手間を
取らせずご利用が
可能です！



よくある質問

Q 導入方法を教えてください？

A 簡易なパスワードですぐにご利用可能です。(導入負担は、ほぼゼロでオンボーディング完了)

Q 担当職域の負担は、如何ですか？

A オールインワンプラットフォームですので負担は軽減されます。

Q 高齢の家族でも利用できますか？

A シンプルに分かり易く設計されてますので、どなたでもご利用可能です。

Q 途中で解約する場合はどうなりますか？

A 途中解約可能です。

Q 無料トライアルの期間は、どれくらいですか？

A 3ヶ月間を予定しております。

会社概要

株式会社HEROIC(ヒロイック)

本人・家族の幸せに対する意欲を高め、超高齢社会問題に対応します

設立年月日 2020年4月8日

所在地 東京都中央区日本橋小網町13-8 安田小網町ビル202
(司法書士古田・野口事務所内)

事業内容 社会インフラ・プラットフォーム提供事業
ソーシャルプロダクト提供事業

今すぐ、社員とご家族・顧客の未来を支える一歩を。

<https://heroic.co.jp/>

お問い合わせ

TEL 03(3664)8931(代表)
MAIL info@heroic.co.jp



MY HEROIC

超高齢社会特有の悩み解決プラットフォーム



ソーシャルストラクチャー

スマートコントラクト型任意後見・身元保証のデジタルトラスト



セルリプログラミング

生殖医療・再生医療支援サービス